

野球部が秋季都大会制覇

今夏準優勝の実績を新チームが引継ぐ

軟式野球秋季東京都大会は、雨天順延などがあって予選から決勝まで41日間の長丁場となったが、この夏の準優勝メンバーを多数残す小石川は前評判通りの強さを発揮し、見事に東京都の頂点に立つとともに10月26日～29日に東京開催される関東大会への出場も決めた。関東大会への出場は小石川高校時代に6回(春5回・秋1回)あり、今回が7度目となる。

予選2回戦 8月22日(水)

新チーム公式戦初戦を白星で好発進

本所 100 000 000=1
小石川 000 020 20×=4

[バッテリー] 新見-丸山
[安打] 5

新チームになって初めての公式戦は予選2回戦からの登場。初回1点入れられ不安なスタートとなったが、5回裏に四球と相手エラーで一死2・3塁とし、丸山のところでエンドランを仕掛け、内野ゴロの間に2塁走者・小谷も一気にホームインし鮮やかに逆転。

7回には四球で出た平下を3塁に置いて、丸山・押見の連続安打により2点を加え、2回以降得点を許さなかった新見の好投により大事な初戦をものにした。

都大会出場決定戦 8月23日(木)

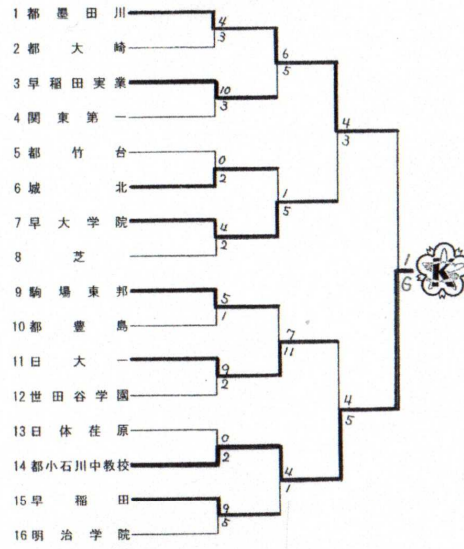
後半の効果的加点で都大会出場決める

蔵前工業 000 001 000=1
小石川 000 200 31×=6

[バッテリー] 小倉(7回)・新見-丸山
[安打] 8

都大会進出がかかった予選3回戦。先発の小倉が4回に無死満塁の大ピンチを3者三振で切り抜けた直後の4回裏、平下の内野安打を皮切りに盗塁や相手エラーをからめて2点先取。さらに7回裏にも二死1・2塁から嶋田のバント安打や平下の安打に機動力を発揮して3点を奪い、8回には小谷の内野安打と押見のタイムリー安打でダメ押し点をあげて、8回途中から登板した新見がピシヤリとおさえて都大会進出を決めた。

都大会組み合わせ表



大会出場メンバー紹介

- 監督: 関裕幸 部長: 斉藤勝久
コーチ: 尾川真毅(本校OB)
- 平下康輔(内野・5C)・小谷俊輔(内野・4C)
 - 新見賢(投手・5D)・丸山龍星(捕手・5A)
 - 押見彰太(外野・4D)・小倉勇輝(投手・5D)
 - 宮本悠矢(外野・5C)・村川徹(内野・5A)
 - 嶋田将門(内野・4A)・山本雅直(外野・5D)
 - 斎藤慎也(外野・5D)・藤原健弥(外野・5D)
 - 矢代将太郎(内野・5C)・野口惇(外野・5B)
 - 泉勇希(外野・5B)・久山司(内野・4C)
 - 石井更汰(外野・4D)・根橋直葵(記録・5D)
 - 大西優子(マネ・5C)・押田麻里菜(マネ4C)

都大会1回戦 9月9日(日)

夏決勝で敗れた日体荏原にリベンジ

日体荏原 000 000 000=0
小石川 001 001 00×=2

[バッテリー] 新見-丸山
[安打] 7

都大会初戦は、この夏決勝を戦い惜敗した因縁のカードの再現となった。先制したのは小石川。3回裏平下の安打とワイルドピッチで一死3塁とし、小谷の安打で1点。さらに6回にも宮本の四球から無死2・3塁のチャンスをつかみ村川の捕手前のゴロ処理の間に宮本の好判断でホームに滑り込み貴重な2点目。

7回表には小石川にエラーが2つ出て二死2・3塁の大ピンチで相手打者の強烈なゴロを一塁手・村川が好捕し、あわや同点の危機を乗り切った。投手・新見は再三のピンチにも動じず、粘り強い投球で見事夏の大会のリベンジを果たしベスト8に進出した。



都大会準々決勝 9月16日(日)

安定した試合運びで関東出場ゲット

小石川 200 000 020=4
早稲田 001 000 000=1

[バッテリー] 新見-丸山
[安打] 6

今秋の関東大会は地元(東京)開催につき出場枠が4校(他県は1校)となるため、関東大会出場を賭けた一戦。先手を取ったのは小石川。初回小谷・新見・丸山の3連続安打などで2点先制。1点差に迫られた8回には四死球や相手エラーでつかんだ一死満塁のチャンスに小倉が2点タイムリー安打を打ち3点差とする。

その裏一死満塁のピンチはレフトに入った斎藤が大飛球を好捕し、2塁走者も刺してダブルプレー。粘る早稲田を突き放して2年連続の4強入りを果たした。



校長先生も入って閉会式後の記念撮影

都大会準決勝 9月17日(月)

大接戦を制して2季連続で決勝戦へ

日大 200 000 200=4
小石川 000 202 10×=5

[バッテリー] 小倉(7回)・新見-丸山
[安打] 7

初回に2点リードを許す展開から、4回裏に新見の四球や丸山の安打で出た走者を山本の2点タイムリーで同点に追いつき、6回には押見の安打やエラーで出た2人の走者を村川の2点安打でリードする。

同点とされ、もつれた試合に決着をつけたのは7回裏、相手の2つのエラーで1点を奪い、そのまま逃げ切りこの夏の大会に続く決勝進出となった。

都大会決勝 10月1日(月)

総合力で墨田川を圧倒し都の頂点に

墨田川 000 100 000=1
小石川 014 000 10×=6

[バッテリー] 新見-丸山
[安打] 4

墨田川高は、夏の大会でも本校と大接戦を演じてきた都立の実力校。この試合が動いたのは2回裏。四球で出塁した丸山が送りバントと盗塁で3塁に進み、小倉とのヒットエ



小石川に優勝旗が授与される

ンドランを見事成功させて無安打で1点先行。3回には、村川のヒットで二死3塁とし、小谷の遊ゴロが相手エラーを誘って1点。さらに2四球を選んで満塁としたところで押見のセンターオーバーの走者一掃の2塁打で5-0と大量リードを奪った。

7回には嶋田の四球と平下のバント安打で1・3塁とし、小谷がスクイズを成功させて勝利を決定づけた。エース新見は相手を散発4安打におさえて小石川の勝利に貢献した。

お知らせ

第53回秋季関東高校軟式野球大会
10月26日(金)～29日(月)

江戸川区球場

(地下鉄東西線西葛西駅下車5分)

試合は大会初日の26日(中間審査最終日)

小石川(都第一代表) VS 千葉代表(8日に決定)